

【特別寄稿】桐技会 会報 No. 5

筑波大学 医療科学類同窓会 『桐技会』



● 桐技会役員を紹介 (平成 21 年 3 月現在)

会長	中川 智貴 (1 回生)
副会長 総務担当	兵頭亜季子 (1 回生)
経理担当	中川 愛子 (1 回生)
名簿担当	山下 由美 (1 回生)
会報担当	會田 雄一 (1 回生)
評議委員	古川 美緒 (1 回生)
	横山 千恵 (1 回生)
	佐藤 朋美 (2 回生)
	長峯 幸子 (2 回生)
監事	糸澤なつみ (1 回生)
	浦山 修 (医療科学類長)

以上のほかに、学生会員より互選された学生役員がいます。



● 新企画：卒業生の近況報告

初回は、臨床検査技師として医療の現場で活躍している 1 回生です。

1 回生 K・Y

筑波大学を卒業してから早くも 2 年がたちました。私は卒業後、静岡県浜松市の総合病院で臨床検査技師として働いています。

実家は群馬なので静岡にはなんの縁もないのですが、やりたいことができるなら場所にこだわりはなかったので今の病院に就職しました。就職したての頃は家族や友達がそばにいなかったことが心細くもありましたが、逆に甘えの効かない環境に身を置いていることで、自分のやるべきことを明確に意識して突き進めたような気がします。

私は学生の頃からずっと生理機能検査に興味があったので、いきなり生理への配属となったのはラッキーでした。初めに覚えた仕事は脳波検査で、その後次々と心電図や肺機能検査を教わりました。生理の中でもとくにエコーがやりたくて、将来的には超音波検査士の資格を取りたいと思っています。1 年目の秋く

らいから本格的にエコーをやらせてもらえるようになり、今は腹部や体表、血管などのエコー検査を行っています。毎日本当に勉強になるし、奥が深くとてもおもしろいです。

とにかく今は仕事が楽しくて、毎日がとても充実しています。正直、臨床検査技師という仕事がこんなにやりがいのある仕事だとは思っていませんでした。うちの病院には約 60 名の臨床検査技師がいますが、みんな本当にすごい人たちばかりなので自分もいずれはああなりたいと目標にしています。病院の医師や看護師その他コメディカルとの連携を実体験することで、改めて臨床検査技師の位置づけを認識し責任を持って仕事をしなければと熱い思いにかられることもしばしばです。

これから卒業していく学生のみなさんも、進学や就職をしたときに、筑波大学の医療科学類を卒業したということに誇りを持ち、最大限の力を発揮して勉学や仕事に励んでほしいと思います。

● 3 回生から： 卒業に際してのメッセージ

筑波大学では、いろいろと新しい経験ができ、たくさんのことを学び充実した時間を過ごすことができました。これからも医療科学類の益々の発展を期待しております。(200712386)

大学四年間、高校三年間よりもあっという間でした。学業、サークル、アルバイトなど充実していたからだと思います。特に、大学生活後半では専門分野の勉強や、研究、実習など、大学でなければできないことができ、とてもためになりました。(200511723)

この学類は、実習や卒研、国試などみんなと同じ目標に向かって頑張る機会が多く、卒業が近づくにつれ、そして卒業して離れ離れになることを実感し始めるにつれ、より友達の存在の大きさを感ずる毎日でした。自分を支えてくれた皆様、ありがとう。(200511722)